



台元寺 寺報

第9号

平成25年 盛夏発行

題字 第32世名誉住職 権大僧正 晃 純 書

発行所 天台宗和光山持廣院 台元寺・佐野百観音

発行人 第33世住職 井 上 純 道

〒327-0806 栃木県佐野市犬伏上町1892

電話 0283-23-0141

FAX 0283-21-0254

E-mail: taigenji@sctv.jp

URL <http://www.taigenji.com>

世界遺産である『総本山比叡山延暦寺』に団体参拝！

平成25年5月25～27日



天台宗 祖師先徳鑽仰大法会 台元寺参拝団 平成25年5月25日

昭和62年以来、26年振りに台元寺としてバスにて無事参拝してきました。
ご参加のみなさん、2泊3日の比叡山及び京都市内観光は如何でしたか？

ご報告

- ・ 4月17日(水) 佐野厄よけ大師：惣宗寺、前住職1周忌法要、惣宗寺（佐野市）にて。
- ・ 4月26日(金) 栃木教区議員協議会、月蔵寺（日光市）にて。
- ・ 5月 9日(木) 栃木教区定例会議、月蔵寺（日光市）にて。
- ・ 5月13日(月) 佐野市仏教会総会、犬伏とみやにて。
- ・ 5月15日(水)～16日(木) 名誉住職の姉 井上千枝子通夜及び葬儀執行、都内葬儀社にて。
- ・ 5月19日(日) ペット供養式、ペットセレモニー佐野にて。
- ・ 5月19日(日) 第10回責任役員総代会。
- ・ 5月21日(火) 無量壽寺（真岡市）第33世住職宮尾仁道師本葬儀に参列、無量壽寺にて。
- ・ 5月25日(土)～27日(月) 台元寺檀信徒比叡山団体参拝。
- ・ 6月 1日(土) 佐野厄よけ大師：惣宗寺（佐野市）にて施餓鬼会法助。
- ・ 6月 1日(土) 山家会及び佐野部内会、大慈寺（岩舟町）にて。
- ・ 6月13日(木) 栃木教区一隅を照らす会会議、福城寺（真岡市）にて。
- ・ 7月 1日(月) 佐野市仏教会理事役員会、植野地区公民館にて。
- ・ 7月 3日(水) 浄光寺住職御母堂様葬儀に参列、浄光寺（日光市）にて。
- ・ 7月 9日(火)～10日(水) 栃木教区比叡山団体参拝。
- ・ 7月10日(水) 三千院門跡（京都府）小堀光詮門主37日忌法要に出仕、三千院にて。



ちょっと気になる『話題の1枚』

平成5年5月より20年間の永きに亘り、台元寺の責任役員、総代を歴任された田村幸四郎さんがこの度、退任されました。20年という功績を讃え、天台座主猊下より表彰状が贈られました。本当にお寺の為に色々のご尽力を戴き、有難うございました。



◎今後の予定

- ・ 7月27日(土) 比叡山青少年研修栃木教区結団式、月蔵寺(日光市)にて。
- ・ 7月31日(水) 佐野市仏教会研修会、植野地区公民館にて。
- ・ 8月13日(土)～16日(木) 盂蘭盆会供養。
- ・ 8月23日(金) 施餓鬼会法助、大慈寺(岩舟町)にて。
- ・ 8月24日(土) 施餓鬼会法助、報恩寺(栃木市)にて。
- ・ 8月26日(月) 施餓鬼会法助、瀧水寺(岩舟町)にて。
- ・ 8月31日(土) 佐野市仏教会研修会、植野地区公民館にて。
- ・ 9月 5日(木) 栃木教区一隅を照らす会会議、壬生寺(壬生町)にて。
- ・ 9月20日(木)～26日(水) 秋彼岸会・・・ご先祖様のお墓参りをしましょう。
- ・ 10月 7日(日) 施餓鬼会・・・ご先祖供養です。檀家の皆様は本堂にお集まり戴き法要致します。
- ・ 11月28日(木) 栃木教区御親教、壬生寺(壬生町)にて。

仏教用語 『呂律』ろれつ

酔っぱらって舌が回らず、言葉がはっきりしないことを「呂律が回らない」等と言います。

仏教では、お経に節をつけて唱えることがよくあります。これを声明(しょうみょう)と言います。

この声明には、呂旋法、律旋法、中曲の三種類の音階があります。そこから、呂律は声明の調子、音の調子、旋律という意味になりました。京都・大原三千院には、声明にちなんで、呂川・律川と名づけられた川が流れています。

声明は日本の音楽に大きな影響を与えています。平家琵琶、謡曲、浄瑠璃、浪花節、今様、ご詠歌、各地の音頭、盆踊りなど、日本人の音楽の底辺には声明があるといわれ、カラオケでよく歌われる演歌も、その影響を受けているほどです。

【編集後記】

今年の夏は特に暑いのではないのでしょうか？ 皆さん水分を取り、熱中症には気を付けましょう。

また、表紙にもありますが26年振りに檀信徒の皆さんと共に総本山延暦寺に参拝してきました。

流石にバスで滋賀県までは、長時間になりましたが、機会があれば今度は長野善光寺や日光中禅寺、平泉中尊寺等も検討しておりますので、その際はご参加戴ければ幸いです。

【境内の花】



金糸梅(きんしばい)

開花時期は、6月から7月中旬頃であり中国原産、日本への渡来は1760年頃。花は鮮やかな黄色で梅雨時に咲き、雨に映えます。いっぱいある黄色のおしべを『金の糸』に、5弁の花を『梅』に例え、金糸梅(きんしばい)と呼ばれています。花言葉は、『きらめき』や『悲しみをとめる』という意味で、確かに眺めていると心が軽くなるような気がします。